

男女共同参画へ町民が心一つに

男女共同参画社会づくりに関する生活実態や意識を把握し、男女共同参画推進条例(仮称)制定に向けての基礎資料とするために町民意識調査を行いました。2月号に引き続き、結果を公表します。

調査にご協力をいただいた皆さんには、お忙しい中大変貴重なご意見や感想をいただき誠にありがとうございました。この調査結果をもとに効果的な施策を行い、住みよいまちづくりを進めていきます。



V パートナーからの暴力について

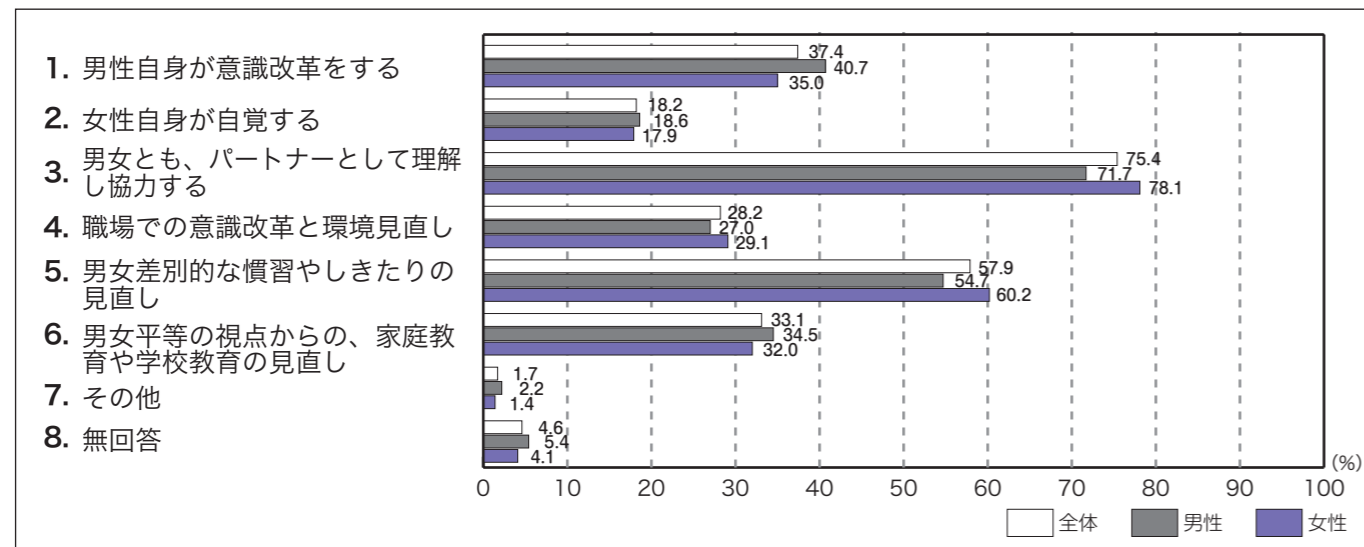
ほとんどの人が「全くない」と答えています。少数ですが「何度もあった」「1・2度あった」と答えています。人命および人体への危険に関わることなので、見逃せない状況にあります。また、そのことの相談については「誰にも相談しなかった」が一番多く、次いで「友人・知人に相談した」「家族に相談した」となっています。

VI 男女共同参画社会の実現に向けて

○男女が社会の対等なパートナーとして、ともに担う社会の実現のために何が必要か

「男女とも、パートナーとして理解し協力する」が最も多く、次いで「男女差別的な慣習やしきたりの見直し」となっています。

問 男女が社会の対等なパートナーとして、互いの人権を尊重しつつ責任もともに担う社会の実現のためには、何が必要だと思いますか。



○あなた自身、どんなことをしたいか

「お互いの立場を尊重しあう」が76.3%と最も多く「身の回りのことは自分でする」50.5%、「育児・家事の分担・協力」48.0%と続いています。

○今後、町(行政)はどのようなことに力を入れていくべきか

「高齢者や障がい者などへの福祉サービスの充実」が56.1%と最も多く、「安心して子育てができる保育サービスの充実」51.0%、「地域づくりにおける男女共同参画の啓発・推進」42.8%と続いています。

○その他、自由意見が146件ありました。

(年代別・男女別件数)

年代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男性	4	7	8	18	11	7	55
女性	9	17	21	21	12	11	91
計	13	24	29	39	23	18	146

※詳しくは町のホームページで公開しています。

<http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/index.jsp>

▼ 調査のあらまし

- 調査対象 町内在住の20歳代から70歳代の男女2,000人(無作為抽出)
- 調査期間 平成21年8月26日～9月25日
- 回答状況 886人(44.3%) 男性371人、女性515人
- 調査内容 基本項目7問、設問23問

▼ 調査結果の概要

IV 社会参画について

○社会参画の活動状況

趣味やボランティア活動、青少年育成活動については男女に大きな差は見られませんが、区や地元の活動については、女性がとても少ない結果となり、男女に差が見られます。

○参加していない理由

「仕事が忙しく、時間がない」は「40歳代」の男性で69.2%、女性で42.9%となっており、次いで「関心がない」となっています。

○地域で指導的立場にある女性の状況

区長やPTA会長など、地域で指導的立場にある女性はまだまだ少ない状況です。その理由として考えられるものは、①「長い間の習慣で男性と決まっているから」が54.2%、②「女性自身が指導的立場となることに消極的だから」41.4%、③「世間一般では、女性が指導的立場になることを快く思わないから」25.1%となっています。

問 町内会長やPTA会長など、地域で指導的立場にある女性はまだまだ少ない状況です。その理由として考えられることは何ですか。

